



河野重行教授退職記念シンポジウム*

— 私たちの地球を救うのは植物と藻類です。 —

日時:平成 29 年 5 月 13 日(土)13:00~17:35

場所:三井ガーデンホテル柏の葉 2F・柏の葉カンファレンスセンター・ルーム 5**

開会の挨拶 松永幸大(東京理科大・理工学部)

第1部 植物編 :13:05~15:05 (各自 15 分)

—ヒストリカルストーリーと多様性—

座長:酒井 敦(奈良女子大・理学部)

新領域の 18 年:植物生存システム学を拓く***

河野 重行(東京大・FC 推進機構)

粘菌ミトコンドリア融合とコケ葉緑体分裂

高野 博嘉(熊本大・院・先端科学)

真正粘菌の 20 年:ミトコンドリア核様体に魅せられて

佐々木 成江(名古屋大・理学研究科)

ミトコンドリアの母性遺伝の決定的瞬間とその後

森山 陽介(藤田保健衛生大・医学部)

緑藻から香草へ

田口 裕基(エスビー食品株式会社)

植物巨大 Y 染色体に立ち向かう

—FISH 解析から巡回セールスマン問題へ—

石井 公太郎(理研・仁科センター)

性染色体解析からクロマチン動態解析へ

松永 幸大(東京理科大・理工学部)

コーヒーブレイク (15:05~15:30)

第2部 藻類編 15:30~17:30 (各自 15 分)

—分裂からバイオベンチャーへの道—

座長:宮沢 豊(山形大・理学部)

灰色藻の葉緑体分裂から電顕の世界へ

佐藤 繭子(理研・環境資源)

真核藻類における栄養環境と葉緑体分裂制御

墨谷 暢子(慶應大学・商学部)

次世代植物生存システム生物学の構築に向けて

吉田 大和(理研・生命システム)

身近なわかめは謎だらけ

—ワカメ生存システム学で挑む,新たな産業振興—

佐藤 陽一(理研食品・原料事業部)

アオノリは海藻のモデル生物になれたのか

桑野 和可(長崎大・院・水環)

自然界からのスクリーニングから感じるトレボウクシ

ア藻類のポテンシャル

宮下 英明(京都大・地球・人間・環境)

ヘマトコッカスとクロレラの電顕 3D と重イオンビーム育種

河野 重行(東京大学・FC 推進機構)

クロレラの物質生産

—東大発バイオベンチャーの可能性について—

竹下 毅(東京大学・FC 推進機構)

閉会の挨拶 河野重行(東京大学・FC 推進機構)

*本シンポジウムは河野教授の退職を記念して開催されるものです。参加は無料です。

**「柏の葉カンファレンスセンター」は、つくばエクスプレス柏の葉キャンパス駅西口徒歩 1 分、三井ガーデンホテル柏の葉の 2 階にあります。ホテルの玄関に入って、右手 2 階に上がります。駐車場は、柏の葉ゲートスクエア駐車場(250 台)2 時間まで無料(以降 30 分毎 200 円)です。

***河野先生の本講演に関しては特別に 30 分とします。なお、本シンポジウムは「河野重行先生定年退職記念事業会」が主催します。